町と企業が、支え合う関係へ

- 出会いから協力へ、関係を段階的に築いてきた3年間 -

大刀洗町 地域おこし研究員 山田 貴裕

協力者：ツルク（猪口,柳,國分,石丸,山口,原 他） 宝幸（一安,井手,藤原,川口,松藤,柿添 他）
クリエイト・オブ・アグリカルチャープラン（西木 他） 田籠建装（志鶴,金子 他） 中村石材工業（中村,井上 他）
コスモトランスポート（石橋,小山,野村 他） 九州デイリーサービス（河原,山本,東郷 他） 三輪産業（道久）
九州恒和工業（川上,木村 他） やひろ食道（小島,堀江） コスモテックス（山本） 久留米工業大学（小田）
就業改善センター（髙村,佐藤 他） ふぁみりぃ農園（古賀光・真琴） 日本経済大学（上野,竹川,坂本 等）
個人 平田郁子,白水國光・美代子,中村照子,小島麻衣,松本哲雄 農家 長野豊治,田中誠司
商工会（光安,西牟田） 大刀洗町役場（地域振興課 村田 原口 棚町 半田 福島 会計課 山村
農政課 国松 税務課 服部 福祉課 渡邉 綿貫 健康課 藪内 協力隊 久田） 町立図書館 浜境
当方のプロジェクトにご協力・ご参加を頂きありがとうございました。 山田 貴裕

1. 導入・目的 | 人とまちと企業の持続的成長循環モデル

町との接点が少ない企業
特徴：地縁・取引無し/本社町外
▶地域資源の活用×

企業の発展
・人材育成、優秀な人材獲得、流出防止
・新たな知識、顧客、経営資源の獲得

双方良し「ありがとう」の連鎖 関係設計

町との接点が少ない企業によるまちづくりを支える
プログラム（計画・工程）を設計し、実装する。

大刀洗町
特徴：ベットタウン化・子育て支援○
▶若年層(15-34歳)の人口流出

地域の活性
・まちづくりの新たな担い手
・企業、参加者による町へ愛着
・コミュニティーの新たな創出

町へ関心（町内外から）　職業体験会

参加者
（従業員・町民・職員など）
・自身の能力UP
・幸福感の向上
・キャリア形成

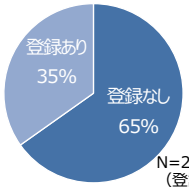
約200社へ飛び込み訪問からの出会いとご縁

2023年度

2. 調査① | 企業の実態調査

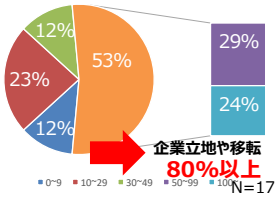
町との接点が少ない企業の実態調査と取巻環境
「接点が少ない企業」の定義の不足、取巻環境の理解不足
「接点が少ない企業」の「まちづくり」のニーズの理解不足

本店又は主たる事務所の割合



N=204/319
（登記上の申請数）

事業規模別の意欲度の割合



企業立地や移転
80%以上
N=17

町と接点が少ない企業は本社機能なし（決済×）、まちづくりへ意欲○

2. 調査② | まちづくりへ関わり方を調査

企業がまちづくりに関わっていくための工程調査
「接点が少ない企業」のまちづくりの事例や先行研究の不足
「接点が少ない企業」が「まちづくり」を実施する工程の理解不足

地産地消
企業内販売

▶野菜を買いたい

農業支援
収穫補助・PR

▶若手社員の活性化

居場所づくり
こども食堂

▶地域の認知向上

企業課題と地域課題を一致すると、持続的なまちづくり○

2024年度

3. 実践 | プログラムの開発と実装

【フレームワーク】経済的側面と社会的側面の両面から

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
価値創造プロセス Value Creation Premises	企業活動 Activities Premise	提携・連携 Alignment Premise	相互作用 Interaction Premise	相互利益 Reciprocity Premise
ステークホルダー・ワーク Stakeholder Work	認知 Stakeholder Awareness Work	特定 Stakeholder Identification Work	理解 Stakeholder Understanding Work	優先順位付け Stakeholder Prioritization Work

フェーズ5：エンゲージメント Stakeholder Engagement Work

フェーズ1から4を繰り返す

【プログラム開発】

仕事募集

仕事体験

コミュニティ

新たな創出

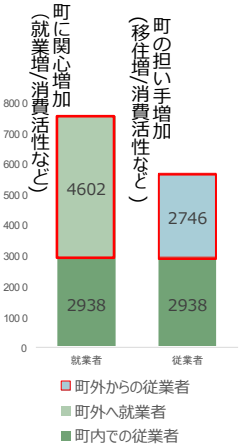
【プログラム実装】

「企業活動によるステークホルダーとの関係構築の流れ」（Mitchell & Lee(2019)『The Cambridge Handbook of Stakeholder Theory』,pp51-60.より筆者作成）

2025年度

4.効果点と関係資本の成果| 共創へ：企業と地域の関係を築く仕組みづくり

町民人口 1/2
新たな可能性



町役場と企業の間に「壁」を無くす

町パートナー企業 制度 24社
✓ 単発協賛ではなく、継続的な関与・共創（人材・交流・企画）へつながる土台ができた

町で働く選択肢が企業と町を繋ぐ

町求人情報等掲載事業 8名雇用（事業開始から1年間）
✓ 町の企業の仕事情報の"見える化"が、雇用だけでなく「相談・接点・参加」の場を生んだ

仕事と想いを町にひらき、関係が育った

▶外国人の活躍の場づくり

▶障がいの方々でも働ける職場へ

企業とのまちづくりは、メディア紹介・表彰を経て、大学での講演へ

西日本新聞社

全国シェアリングシティ大賞

地域貢献講義

5.研究員の役割 | 山田貴裕の立場

課題を整理し、企業と共創関係を築く

6.広報 | 大刀洗みらい研究所へ

新テーマ挑戦から制度化まで
✓ 大学の知見を活用した既存事業の深化だけでなく、自らの提案から実装力が伸びる

キャリア資産・ネットワーク
✓研究×実務の経験が、次の挑戦や評価に！大学・企業等とつながり、視野と選択肢が広がる